

(部分)責任実習 指導計画

実習指導教諭

印

実習生氏名

印

20xx 年 ○ 月 ○ 日 (△)		場 所	保育室・ホール・園庭
主な活動 (題材)	チアダンス (ボンボンを持って踊ろう)		実習 クラス (5)歳児 (すみれ)組 男児(10)名 女児(10)名 計(20)名
幼児の姿 (前日までの 幼児の姿を 多面的に捉 えて書く)	リズム遊びを続ける中で、音楽に合わせて体を動かすことが楽しいと感じている。チアの基本的な動きや、ボンボンを取り入れて、仲間と息を合わせて踊る楽しさ、一体感などを伝えたい。振付けは簡単にして、子どもたちが楽しめる内容に工夫したい。		保育活動 のねらい ・リズムに乗って体を動かすことを楽しむ。 ・チアの基本的な動きや、ボンボンを取り入れて、普段のダンスとの違いを楽しむ。 ・友達と一緒に踊ることで一体感を感じられる。 ・それぞれが主体的に踊り、表現できるようになる。
時間	環境構成	予想される幼児の活動	保育者の援助・配慮
10:00 (導入)	【ホール・体育館・園庭】 ・危険な物が無い空間で行う	・動きやすい服装で行う。 ・導入のリズム遊びで保育者に注目する。 ・保育者との掛け合いにより、動くこと、声を発することを楽しむ。	・導入として、ダンスの振付けに出てくる動きを取り入れて、リズム遊びを行う。 ・保育者と子どもたちの掛け合いになるような言葉かけと動きを取り入れる。
10:10 (主活動) ※サブシート参照	【準備物】 ・音源 ・ボンボン	・音楽に合わせて踊ってみる。 ・繰り返し同じ動きをすることで覚えることができる。 ・保育者と対面で行う楽しさ、友達と動きをすることを楽しむ。 ・自信ができてきたら、自分らしい動きになる。	・簡単な振付けにする。 ・同じメロディーの部分は同じ動きにするなど、繰り返すことで、自然に覚えていけるようにする。 ・保育者も共に踊り、楽しむ。 ・表情は大切であり、マスクの下の笑顔が感じられるように心がける。
10:25 (まとめ)			
10:30			
自己振り返り・評価等	チアリーディング、チアダンス両方に共通することは、ボンボンという手具を持って取り組むことである。振付けは幼児向けに簡単にアレンジし、楽しさを伝えられるようなダンスにして取り入れることが望ましい。チアの要素を取り入れながら、年齢に合った工夫をすることで、様々なリズム遊び・表現遊びに展開したい。		